

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査内容の変更をさせていただくこととなりましたので、ご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

2020年10月

◇検査内容変更項目

項目コード	検査項目名
4024	レニン活性(PRA)
4023	アルドステロン
4121	アルドステロン(蓄尿)

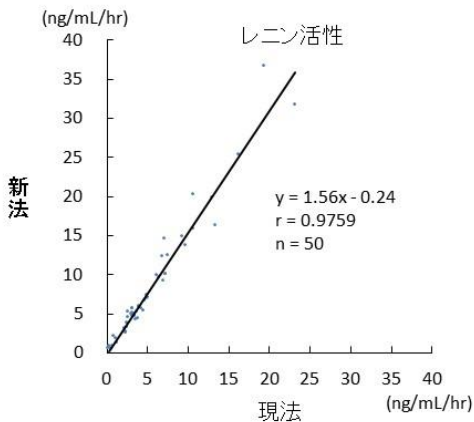
変更期日：2020年10月31日(土)受付分より

※ 詳細は次頁をご参照ください

レニン活性(PRA)【項目コード: 4024】

精度向上を目的とした測定試薬に変更させていただきます。

	新	現
項目コード	4024	同左
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.7mL	同左
容器	⑰: EDTA-2Na容器	同左
保存方法	必ず凍結	同左
検査方法	EIA法	RIA法(二抗体法)
基準範囲	座位: 0.2~3.9 臥位: 0.2~2.3 立位: 0.2~4.1	臥位: 0.3~2.9 立位: 0.3~5.4
単位	ng/mL/hr	同左
報告範囲	0.2未満~45.0以上	0.15未満~37以上
報告桁数	小数第1位	小数第2位
所要日数	2~4日	同左
検査料/実施料	100点/生化学的検査(Ⅱ)	同左



自社検討資料

アルドステロン【項目コード:4023】

従来試薬販売中止の為、新試薬に変更させていただきます。

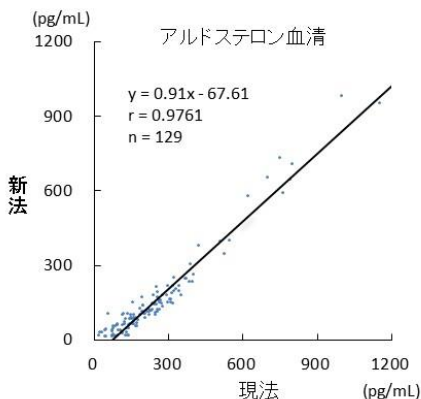
	新	現
項目コード※1	2711	4023
検査材料	血清または血漿	血清（血漿可）
検体必要量	0.5mL	同左
容器	血清：⑩ 分離剤入り容器 または 血漿：⑪ EDTA-2Na容器	⑩：分離剤入り容器
保存方法	凍結	同左
検査方法	CLEIA法	RIA法(チューブ固相法)
報告内容※3	CLEIA法による測定値	RIA法による測定値
	RIA法相当値※2	
基準範囲	CLEIA法による測定値：170.5以下	随時：35.7～240.0 臥位：29.9～158.8 立位：38.9～306.8
	RIA法相当値：設定なし	
単位	pg/mL	同左
報告範囲	CLEIA法による測定値：17.0未満～1600.0超	25未満～1600超
	RIA法相当値：59.3未満～1642.3超	
報告桁数	小数点第1位	同左
所要日数	2～4日	同左
検査料/実施料	125点/生化学的検査(Ⅱ)	同左

※1 変更期日以降に、従来コードでご依頼いただいた際は、新コードでの受付に変更させていただきます。

※2 従来コード(4023)の検査項目名を「アルドステロン」から「RIA法相当値」と変更して、ご報告させていただきます。

※3 2018年10月に日本内分泌学会より「アルドステロン測定を行っている会員への重要なお知らせ」がありました。このお知らせには、特に測定キット間での数値の整合性を担保し、再現性ある精度の高い測定法を強く要望されており、異なる測定法に応じて、補正しうる方策を講じる必要があることが示されました。このことから、当該検査項目(CLEIA法)は、アルドステロン測定の標準化委員会で検討されたRIA法とLC-MS/MS法の相関、および本法とLC-MS/MS法の相関結果から考慮した従来のアルドステロン/レニン活性比(Arr)の臨床判断値を継続する為の補正式をご案内致します。また、当面の間、新法による値と補正後の値を併記してご報告させていただきます。

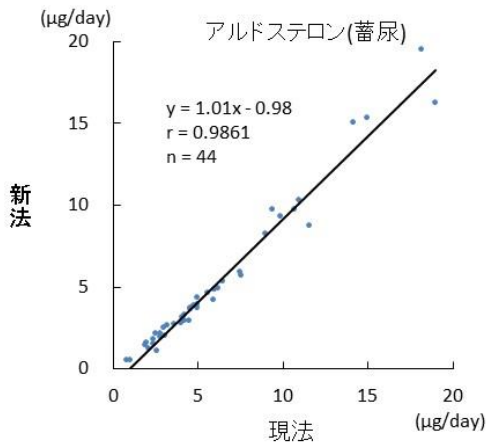
$$Y(\text{RIA法相当値}) = \text{アルドステロン(CLEIA法)値} + 42.3$$



アルドステロン(蓄尿)【項目コード:4121】

従来試薬販売中止の為、新試薬に変更させていただきます。

	新	現
項目コード	4121	同左
検査材料	蓄尿	同左
検体必要量	3.0mL	同左
容器	⑩:尿容器	同左
保存方法	凍結	同左
検査方法	CLEIA法	RIA法(チューブ固相法)
基準範囲	濃度:設定なし 1日排泄量:10.0以下	濃度:同左 1日排泄量:3.0~11.4
単位	濃度:ng/mL 1日排泄量:μg/day	濃度:同左 1日排泄量:同左
報告範囲	濃度:0.6未満~48.0以上 1日排泄量:設定なし	濃度:0.8未満~48.0以上 1日排泄量:同左
報告桁数	小数点第1位	同左
所要日数	3~5日	同左
検査料/実施料	125点/生化学的検査(Ⅱ)	同左



自社検討資料